

研究開発促進事業貝類養殖漁場適正 利用技術開発研究

－ホタテガイ養殖漁場利用技術研究－

(要約)

関野 哲雄・高橋 克成・横山 勝幸・田中 俊輔・塩垣 優
直江 春三・永峰 文洋・三津谷 正・尾坂 康

昨年度に引き続き(本年度は2年目)、陸奥湾におけるホタテガイ養殖漁場の適正利用方式について技術的究明を行ない、ホタテガイの安定的生産に資することを目的に、下記の試験、研究を実施した。

I 実証試験

- 1) モデル養殖試験
 - 51年開始試験……51年度に引き続き本養殖試験を実施 場所 川内、茂浦地先
 - 52年開始試験……採苗・中間育成を行なった(継続中) 場所 川内、茂浦地先
- 2) モニター養殖試験； 51年度は久栗坂、茂浦、川内地先の5名の漁業者を対象に実施
52年度は茂浦地先の3名の漁業者を対象に実施(継続中)

II 養殖技術改良試験

- 1) 養殖作業の検討； 陸上作業時にホタテガイに与えられる酸素欠乏、空中露出、選別機の影響とへい死率、異常貝の出現率等を検討した。
- 2) 養殖方法の検討； 養殖施設の振動、養殖カゴへの収容数、手入れ、養殖カゴの床面の構造等の影響と成長、へい死率、異常貝の出現率について検討した。
接着養殖法による垂下養殖試験を実施した。
現在使用されている養殖カゴにおける成長、異常貝の出現率等について比較した。
- 3) 生理特性の検討； 異常貝との混養および接触による影響、ホタテガイ肉の混入した飼育水の影響、地まき貝の動き、明るさに対するホタテガイの反応、貝の成育環境と貝殻表面彫刻の関係、等の試験、研究、観察を実施した。

III 漁場環境条件調査

- 1) 海況自動観測； 湾内に設置された5基の観測ブイを利用し、陸奥湾内の環境条件を観測した。
- 2) 実証漁場環境調査；久栗坂、茂浦地先の実験漁場とその周辺海域において、水質では水温、塩分、DO、COD、SS、クロロフィル、底質では強熱減量、全硫化物、有機物、全有機炭素、全有機窒素を測定した。
- 3) 養殖カゴ内の環境調査；ホタテガイを収容したパールネット内外の環境条件の差について予備調査を実施した。